

# 北朝鮮拉致問題

## 日本共産党は解決の道をこう考えます



野党共闘と首相との会談。右端が、志位委員長。左端が市田書記局長(昨年12月9日)。

### 北朝鮮の無責任・不誠実にきびしく抗議

#### 志位委員長が小泉首相に申入れ

横田めぐみさん、松木薫さんの「遺骨」とされた骨が虚偽だったことで国民の怒りが噴き出し、新たな重大な局面となっております。

日本共産党は、今後の対応として、これまでの延長線上ではない交渉の抜本的強化のための申入れを、小泉首相に行ないました。

### これまでの延長でない交渉の“抜本的強化”へ

#### 日本共産党の提案

- ① 北朝鮮側の交渉担当を責任負える当事者に
- ② 日本側の真相究明活動に十分な保障を
- ③ 交渉の推移や北朝鮮側の態度いかんによっては、経済制裁もあり得る

#### 県議会でも日朝交渉強化の意見書提案

日本共産党は、12月の県議会でも、日朝交渉を強化するため意見書提案をおこないました。与党4会派の出した意見書が多数決で採択。与党案は、いま必要な交渉強化が盛り込まれていない一方で、即刻の経済制裁を求めるもので、日本共産党は棄権しました。



日本共産党伊丹市会議員  
**上原ひでき**市会報告

第58号  
発行  
2005年  
1月

伊丹市松ヶ丘  
2丁目6-1  
TEL 778-1617

今年も  
がんばります



お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年も、阪神淡路大震災から一〇年の年です。昨年も台風や地震で大変な年でしたが、これらを通じて改めて政治のあり方が問われたのではないのでしょうか。

小泉内閣の政治といえば、イラクへの自衛隊派兵、年金制度や介護保険制度の改悪、定率減税の廃止などの増税……。今こそ命と暮らしが大切にされる政治が求められているときはありません。

私も昨年に引き続き、みなさんの暮らしを守るため、あたたかい市政の実現をめざしてがんばります。今年もよろしくお願ひ致します。

二〇〇五年一月

市会議員 上原秀樹

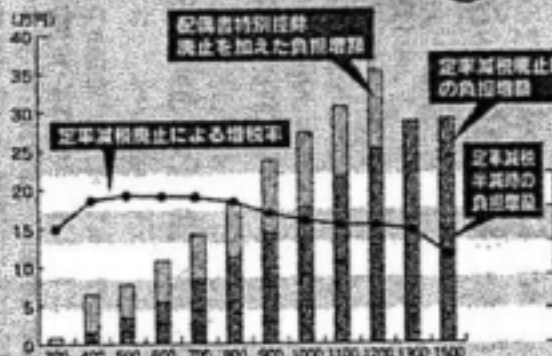
### イラク派兵反対!

## 憲法9条を守ろう

- 1、日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2、前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

憲法9条は日本の宝です。そこには国民の苦難の歴史と反省が込められています。憲法9条の精神で、世界に平和を呼びかけることが今こそ求められています。私は憲法を変えることには絶対反対です。

定率減税の半減・廃止による負担増額(億円)



定率減税廃止でくらしも経済もメチャクチャに

年金保険料の値上げをはじめ、小泉内閣が決めた負担増の本格実施が迫っています。自民・公明党は、この上さらに、定率減税の廃止で、働き盛り・子育て世代や高齢者に容赦なく負担増をおしつけようというのです。

こんなことをゆるせば、家計は圧迫され消費が冷え込み、経済も破壊されてしまいます。

サラリーマンの夫と専業主婦の家族、子ども2人(うち1人16歳から22歳)の4人家族の場合  
注)配偶者特別控除(所得税と住民税)の廃止は小泉内閣のもとです。すでに決まらず、増収率は約1割に上る見込みです。